

●外国人おもてなし講座

2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」を控えて、東京都では来日する観光客を「おもてなし」するボランティアを育成するため、英語講座のテキストを作成しました。

そこで、国際交流部会(部長/薄衣修二)では、第140回国際交流の集いで、「外国人おもてなし講座」を開催しました。

進行役は、面田真和さんと木村耕作さんが務められました。

- ① 外国人への呼びかけ ② 断られたときの対応
- ③ 出身地を尋ねる ④ 会話の締めくくり方

二人一組で、一人が外国人(観光客)、もう一人がボランティアになって、ロールプレーン形式で英語の会話を楽しみました。

また、日本の文化や習慣を英語で表現できるように、「茶会」と「神社参拝」について学習しました。今後もこのような活動を継続する予定です。

(取材・写真/広報部会)



▲指導・助言する薄衣部長

●介護施設を慰問

市民会議の芸能部会(部長/小菅和英)は、今年初の施設慰問を行いました。参加者は、芸能部会6名、南京玉すだれ会員6名。平成31年1月19日、昭島市拝島町の介護施設「ハピネス昭和の森」の新年会。あいにく、インフルエンザ流行のため、大ホールでの式典は中止になりましたが、各階(4階・5階)での演芸は、入所者を集めて賑やかに行われました。



▲みんなで踊ろう炭坑節

4階では、「南京玉すだれ」を披露。「東京タワー」「昭島クジラ」「東京オリンピック」「ミッキーマウス」など、楽しい演目に見物人は大喜び。たいへん有意義な施設訪問となりました。南京玉すだれ・仙助流19315会のメンバーは、望月ひささん、篠英子さん、浅見春美さん、須藤慶子さん、大里明子さん、篠克彦さん。参加してくれた会員の皆さんに、お礼申し上げます。

(芸能部会/奥隅禮太郎 写真取材/広報部会)



▲施設慰問の皆さん

5階では、奥隅禮太郎さんの三味線、桑原まち子さん、小林美瑛子さんの唄に合わせて、浜寄須磨子さん、川島雅江さん、原島順子さんの踊りで、「炭坑節」「東京音頭」「昭島くじら音頭」などを披露しました。



▲サテモ南京玉すだれ